

## 2023年7月 中国のCOVID-19感染状況 第2波は収束へ

7月5日の中国CDCの月次報告では、6月のCOVID-19新規重症症例は1,968例、死亡症例は239例、発熱外来診療数は月初の28.8万/日から月末には16.4万人/日に減少、ILIのSARS-CoV-2陽性率は月初の38.6%から月末の15.4%に減少と、第2波は収束に向かっている。本土症例のXBB系列の比率は月末が最高で96.2%であった。中朝国境で採集したカクマダニから新しいオルソナイロウイルスが発見された。

2023.7.7 吉川淳子(中国執業医師 南京市)

### 1. 中国CDCの月次レポート

#### 全国COVID-19感染状況

2023.7.5 発表分<sup>1</sup> (2023年6月分)

#### 一、全国のCOVID-19重症と死亡症例の報告状況

2023年6月1~30日、全国31の省(自治区、直轄市)と新疆生産建設兵団が報告した新規重症症例は1,968例で、死亡症例は239例(うちCOVID-19による呼吸不全での死亡症例は2例、基礎疾患に加えCOVID-19に感染し死亡した症例は237例)であった(図1)。

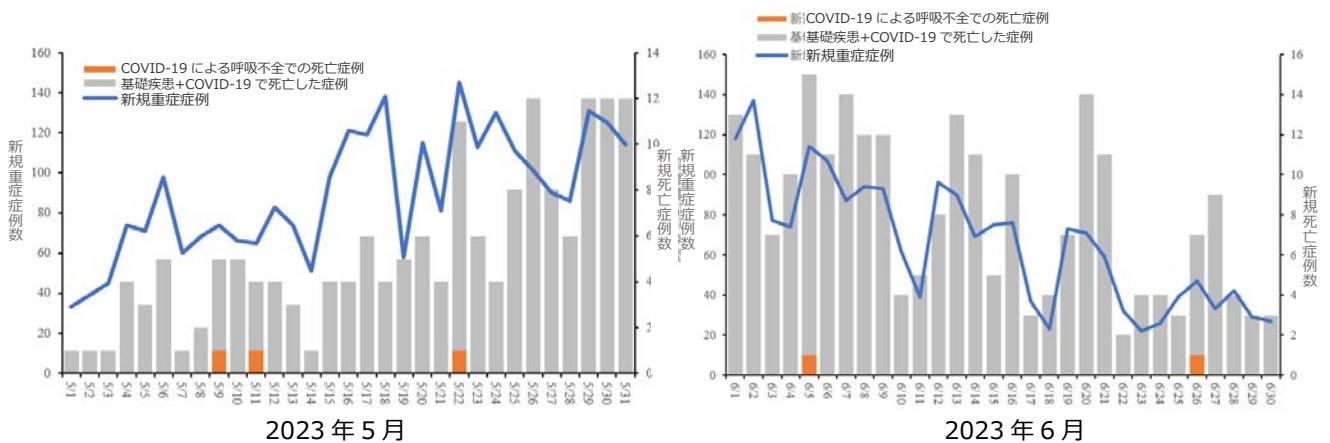


図1 全国COVID-19新規重症症例と死亡症例の報告状況 中国CDC

<sup>1</sup> 『全国新型冠状病毒感染疫情情况』中国CDC HP

6月分 2023.7.5 [https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb\\_11803/jszl\\_13141/202307/t20230705\\_267605.html](https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb_11803/jszl_13141/202307/t20230705_267605.html)

5月分 2023.6.11 [https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb\\_11803/jszl\\_13141/202306/t20230611\\_266656.html](https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb_11803/jszl_13141/202306/t20230611_266656.html)

## 二、全国発熱外来診療状況

全国 31 の省（自治区、直轄市）と新疆生産建設兵団が報告した発熱外来診療数は、2023 年 6 月 1 日の 28.8 万人から波動的に減少して 6 月 30 日には 16.4 万人となった（図 2）。

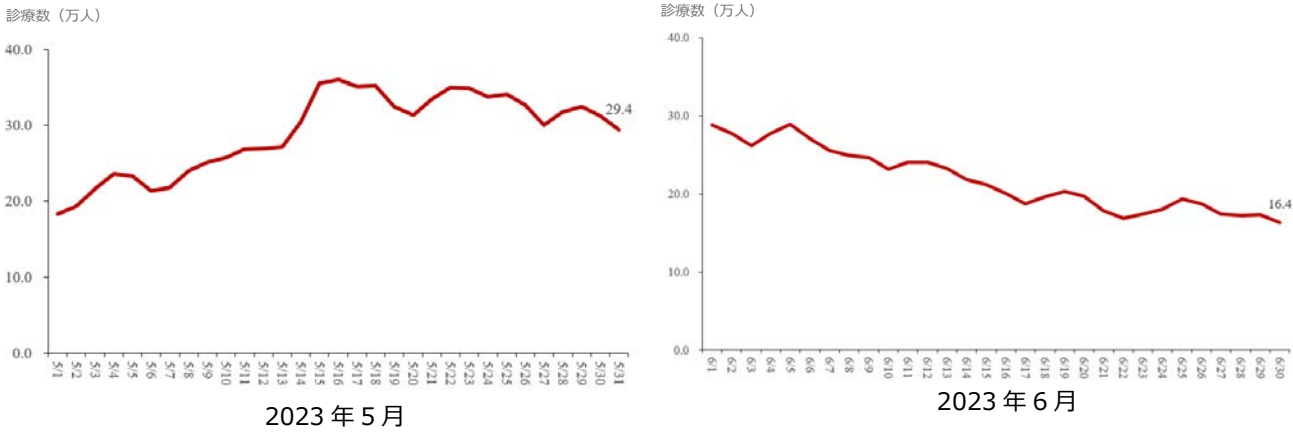


図 2 全国発熱外来診療人数の変化 中国 CDC

## 三、定点病院サーベイランス状況

全国定点病院でのインフルエンザ様症例（ILI）の外来、救急外来受診者に占める割合は、2023 年第 22 週（5 月 29 日～6 月 4 日）の 5.5%から、第 26 週（6 月 26 日～7 月 2 日）には 4.4%に減少した（図 3-1）。

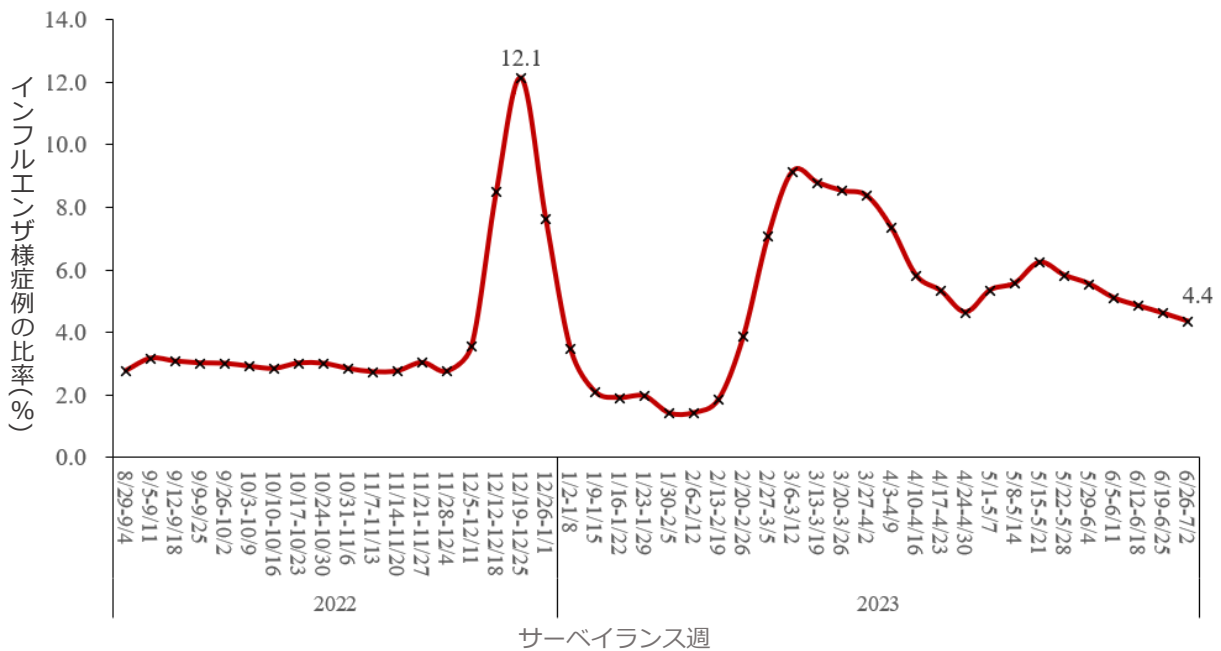


図 3-1 全国定点病院報告のインフルエンザ様症例比率の変化 中国 CDC

インフルエンザ様症例（ILI）の SARS-CoV-2 陽性率は第 21 週（5 月 22～28 日）の 42.5%から第 26 週（6 月 26～7 月 2 日）の 15.4% まで減少した（図 3-2）。

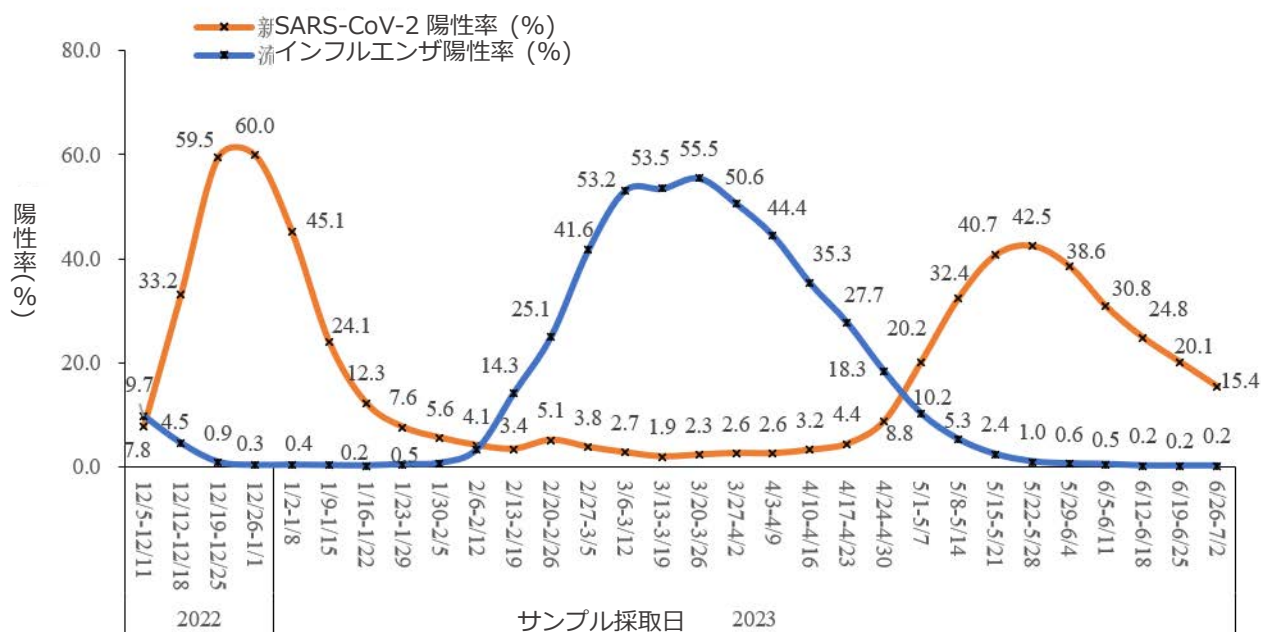


図 3-2 全国定点病院でのインフルエンザ様症例の SARS-CoV-2 とインフルエンザ陽性率の変化 中国 CDC

#### 四、本土症例ウイルス変異サーベイランス状況

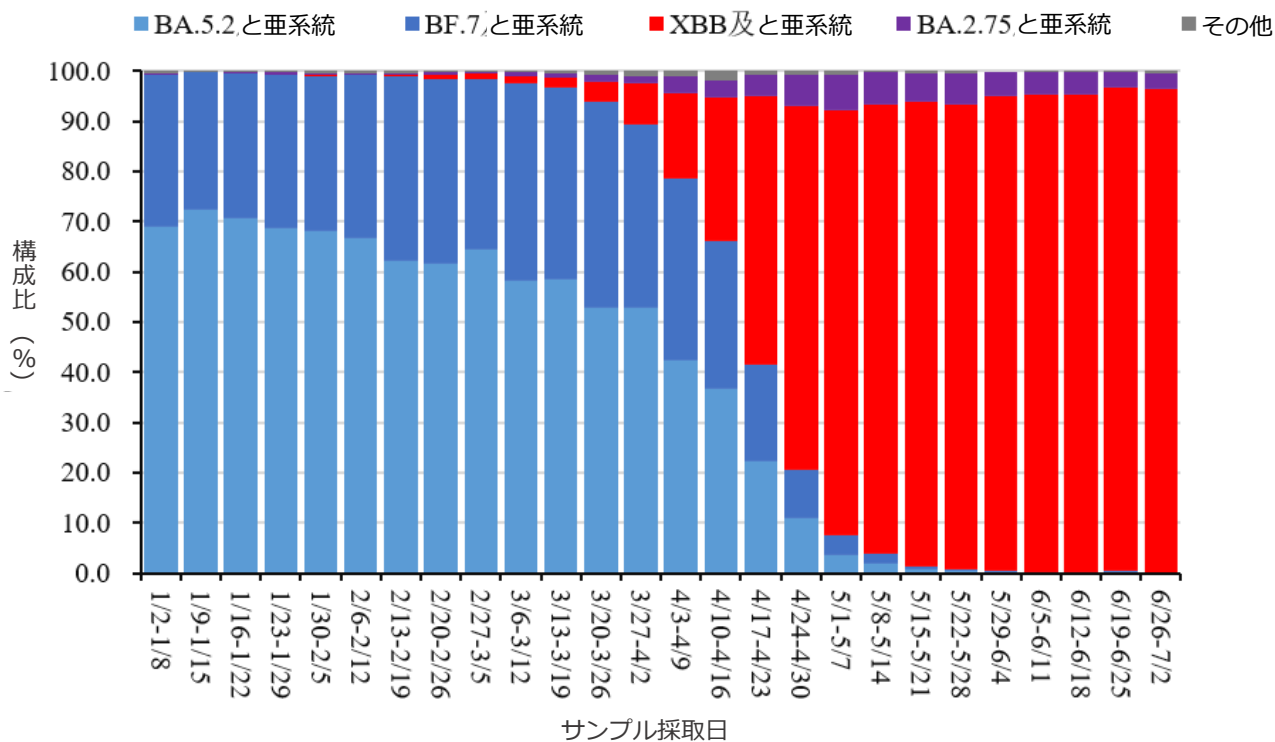


図 4 全国の SARS-CoV-2 本土症例変異株の変化 中国 CDC

2023年6月1～30日、全国31の省（自治区、直轄市）と新疆生産建設兵団から計12,431例の本土症例の有効なSARS-CoV-2ゲノムシーケンスが報告され、その全部がオミクロン株で、141の亜系統が存在した。主な流行株はXBB系列の変異株で、上位3種の流行株はXBB.1.9と亜系統、XBB.1.16と亜系統、XBB.1.22と亜系統であった。

サンプル採取日別に見ると、XBBと亜系統の比率は次第に増加しており、2023年第22週（5月29日～6月4日）には94.7%であったが、第26週（6月26日～7月2日）には96.2%となった（図4）。

附) 訳者による参考資料：

表1 中国本土 在院COVID-19感染者、重症者数（人）

2023年	在院感染者数	在院重症者数 (重篤を含む)	うち COVID- 19重症	基礎疾患重症 +COVID-19 感染
ピーク値	162.5万 (1/5)	12.8万 (1/5)		
1/12	1,270,000	104,018	7,357	96,661
1/19	471,739	51,683	3,874	47,809
1/26	215,958	26,156	1,894	24,262
2/2	98,742	7,918	653	7,265
2/9	37,611	424	46	378
2/16	20,000	56	6	50
2/23	14,500	8	0	8
3/2	11,000	8	0	8
3/9	8,629	6	0	6
3/16	7,091	7	2	5
3/23	5,881	5	1	4
3/30	4,697	7	2	5
4/6	3,889	8	2	6
4/13	3,697	5	1	4
4/20	3,929	10	2	8
4/27	5,592	19	3	16
		新規重症症例*		
5/1～31	—	2,777	—	—
6/1～30	—	1,968	—	—

\*5-6月分は「新規重症症例」とされ「在院」の記載なし  
(中国CDC発表データより筆者作成)

表2 中国本土 在院COVID-19関連死亡者数（人）

	総数	うち COVID-19で の呼吸不全に よる死亡	基礎疾患+ COVID-19感 染による死亡
2022/12/8～ 2023/1/12	59,938	5,503	54,435
1/13～19	12,658	681	11,977
1/20～26	6,364	289	6,075
1/27～2/2	3,278	131	3,147
2/3～9	912	27	885
2/10～16	98	1	97
2/17～23	7	0	7
2/24～3/2	0	0	0
3/3～9	0	0	0
3/10～16	0	0	0
3/17～23	0	0	0
3/24～30	0	0	0
3/31～4/6	0	0	0
4/7～13	0	0	0
4/14～20	0	0	0
4/21～27	0	0	0
5/1～31**	164	3	161
6/1～30**	239	2	237
12/8～合計	83,658	6,637	77,021

\*1日あたりの死亡数ピークは2023.1.4の4,273人  
\*\*5-6月分は「新規死亡症例」とされ「在院」の記載なし  
(中国CDC発表データより筆者作成)

表3 中国本土 発熱外来、インフルエンザ様症例 (ILI) の状況

発熱外来受診者数 (人)				定点病院インフルエンザ様症例 (ILI)				
集計日	全体	農村	都市	集計週		外来受診者中の割合 (ILI%)	SARS-CoV-2 陽性率 (%)	インフルエンザ 陽性率 (%)
ピーク値	286.7万 (12/23)	92.2万 (12/23)	195.4万 (12/22)	週 No	ピーク値	12.1 (12/19~25)	60.35 (12/26~1/1)	55.5 (3/20~26)
1/23	11.0万	5.0万	5.9万	3	1/16~22	2.0	13.10	0.14
1/30	16.4万	6.9万	9.5万	4	1/23~29	2.0	8.3	0.5
2/6	13.7万	5.8万	7.9万	5	1/30~2/5	1.4	5.7	0.6
2/13	12.8万	5.0万	7.7万					
2/16	12.4万	4.6万	7.7万	6	2/6~12	1.4	4.1	3.4
2/23	14.7万	3.3万	11.5万	7	2/13~19	1.8	3.4	14.3
3/2	30.4万	5.1万	25.3万	8	2/20~26	3.8	5.1	25.1
3/9	48.1万	8.1万	40.0万	9	2/27~3/5	7.1	3.8	41.6
3/16	48.3万	9.7万	38.6万	10	3/6~12	9.1	2.7	53.2
3/23	45.5万	10.9万	34.6万	11	3/13~19	8.8	1.9	53.5
3/30	42.3万	10.6万	31.8万	12	3/20~26	8.5	2.3	55.5
4/6	38.4万	11.7万	26.6万	13	3/27~4/2	8.4	2.6	50.6
4/13	30.1万	9.4万	20.6万	14	4/3~9	7.3	2.6	44.4
4/20	23.6万	6.8万	16.8万	15	4/10~16	5.8	3.2	35.3
4/27	22.1万	5.5万	16.5万	16	4/17~23	5.3	4.4	27.7
				17	4/24~30	4.6	8.8	18.3
5/1	18.3万	—	—	18	5/1~7		20.2	10.2
				19	5/8~14		32.4	5.3
5/16	36.0万	—	—	20	5/15~21	6.2	40.7	2.4
5/31	29.4万	—	—	21	5/22~28	5.8	42.5	1.0
6/1	28.8万			22	5/29~6/4	5.5	38.6	0.6
				23	6/5~11		30.8	0.5
				24	6/12~18		24.8	0.2
				25	6/19~25		20.1	0.2
6/30	16.4万	—	—	26	6/26~7/2	4.4	15.4	0.2

(中国CDC発表データより筆者作成)

## 2. 中朝国境のカクマダニから新しいオルソナイロウイルスを発見<sup>2</sup>

6月発行の『中華実験と臨床ウイルス学雑誌』によると、中朝国境の中国側で採集したカクマダニ

<sup>2</sup>李樊, 中朝边境森林革蜱中发现新病毒, 中华实验和临床病毒学杂志, 2023年6月 2023,37(3): 338-338.

<https://webvpn.njucm.edu.cn/https/webvpnc7d8cf272c378b5f25d0691d6e827075/CN112866202303/1464302.htm>

Li F, Li J, Song J, et al. Novel Orthonairovirus Isolated from Ticks near China-North Korea Border, Emerging Infectious Diseases, Volume 29, Number 6—June 2023 [https://wwwnc.cdc.gov/eid/article/29/6/23-0056\\_article](https://wwwnc.cdc.gov/eid/article/29/6/23-0056_article)

(Dermacentor silvarum ticks) から新しいオルソナイロウイルス (orthonairovirus) を検出し、Antu ウイルスと命名した。このウイルスはブニヤウイルス目ナイロウイルス科 (Bunyavirales Nairoviridae) に属し、ゲノムは L、M、S の 3 つの分節からなる。Antu ウイルスは同属の Tamdy ウイルス、Songling ウイルス (SGLV) と遺伝的相関性があり (Songling ウイルスとのゲノム配列相同性は 71.9~73.0%)、Vero 細胞で培養が可能で、細胞に病変がみられた。このため、マダニを媒介としてヒトや哺乳動物に感染するリスクがあると考えられる (詳細は『Emerging Infectious Diseases』論文を参照されたい)。